



みなさんこんにちは！
いよいよ「ふえどく」が
始まりました！

ふえどくは、
みなさんと図書館を結びつける
図書委員会作成の広報紙です。
きらきらハイスペ司書（マジ天使！）
の☆せーやさん☆といっしょに
図書館を盛り上げるのに
ふえどくが一役買えたらと
思っています。

よろしくお祈りします！



vol.1 せーやさん降臨！号
STAFF:笛吹高図書委員

3-8 小野洋聖ケン(図書委員長)のおすすめ本

『嫌われる勇気』 岸見一郎

「世界はシンプルである」。フロイト、ユングに並ぶ三大巨頭心理学者・アドラーの説く「アドラー心理学」を善とする哲学者の著した本に書かれたこの言葉に一人不満を抱いた青年がいた。他人を信じることができずネクラな思考の彼は哲学者の持論に対し世界は複雑であると批判した…。悩みとは何処からくるもので、それを消しさるための方法とは何なのか。まず悩みや劣等感といった考え方とは一体何なのか。哲学者と青年の対話形式で上げられる人生の真理に迫る哲学書、この一冊で生き方に持つ理念が一転される。嫌われる勇気の本当の意味をぜひその手で見分けてほしい。



白澤一奈先生(英語・図書館主任)のおすすめ本

『チーズはどこへ消えた？』

スペンサー・ジョンソン

「Who Moved My Cheese (チーズはどこへ消えた)？」という題名。何が書いてあるのか気になりませんか。

まずは、「Who Moved ~?」の疑問文。①「いったい誰が動かしたの?」、②「誰も動かせないよ」、③「誰が動かした、まあ誰でもいいか」。どれを思い浮かべましたか。

次に「My Cheese」の内容。「Your」でも「The」でもないのも気になりますが、そもそも「Cheese」って何を例えていると思いますか。

この本のメインとなるのは、二匹のネズミ「スニッフ」と「スカリー」と二人の小人「ヘム」と「ホー」が登場する物語です。この本がみんなの新しい「Cheese」を探す一歩を踏み出すきっかけになってくれるはずですよ！

3-8 深澤美彩サン(昨年度多読者1位)のおすすめ本

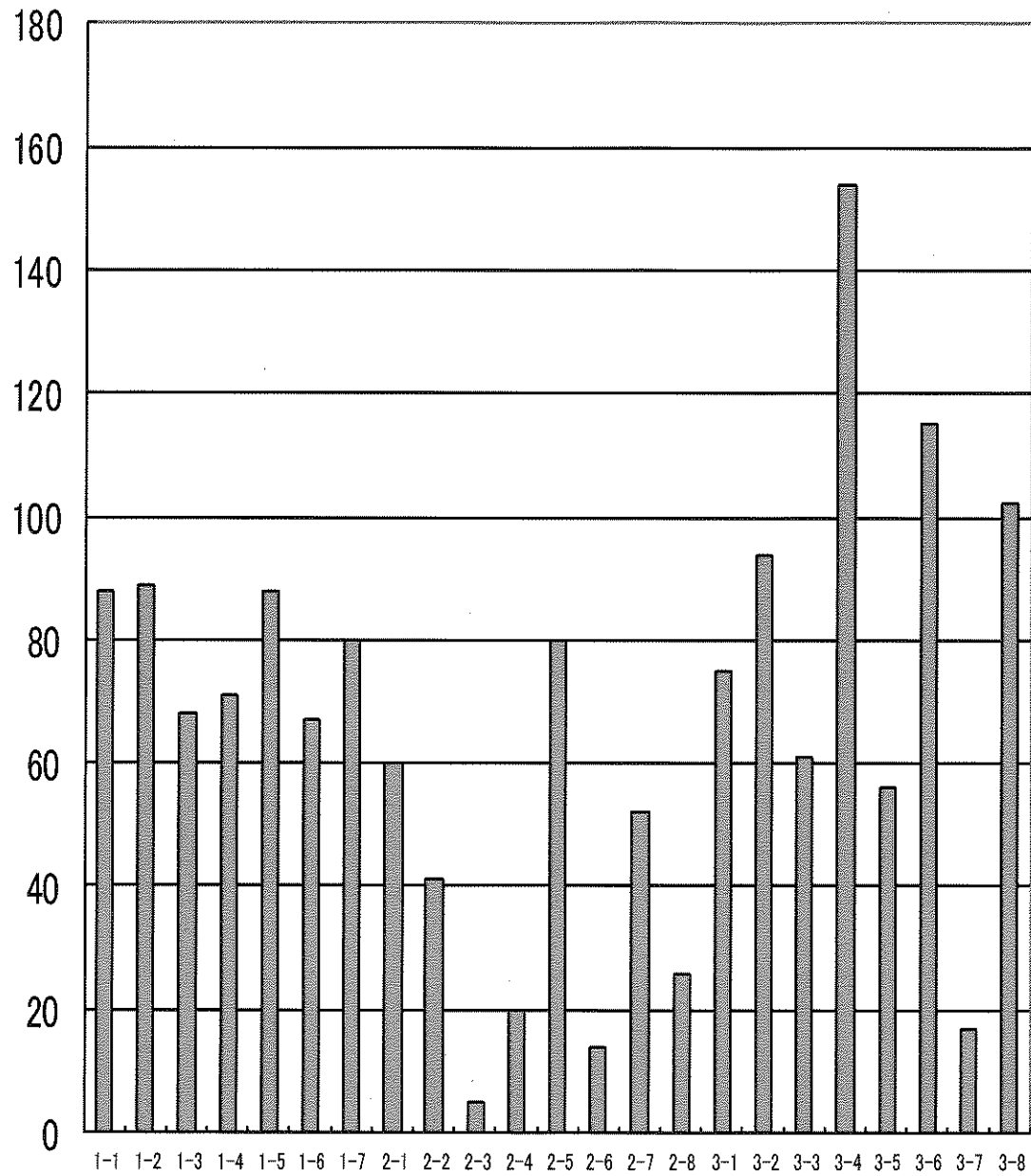
『僕の永遠を全部あげる』 しおみなつえ 汐見夏衛

私が好きでしかたがない作家の一人である汐見夏衛さんが永遠の愛を描いた号泣必至の小説『僕の永遠を全部あげる』。学校にも家庭にもどこにも自分の居場所がないと感じ、生きる意味を見失っている少女・千花が、どこか不思議な雰囲気をもったやさしく一途すぎる少年・留生と出逢って成長するストーリーになっている。しかし二人の出逢いは、気が遠くなるような年月を経た、悲劇的な宿命を背負っているのだった。人として真の成長とは、自分の弱さや欠点を認め、良い所も悪い所も全てが自分なのだとして自分で自分を愛せるように、大切にできるようになることだと私は思う。また、感情も人を成長させ、人生に鮮やかな色をつけてくれる。ぜひ、図書館であなただけの特別な運命の一冊を見つけてほしい。





クラス別貸出冊数



図書館利用統計

1年	551冊
2年	298冊
3年	674冊
職員	325冊

合計 1848冊
(4月)

…なんと昨年度の貸出冊数の
3倍以上!

多読者ベスト10

1位	3-6	大井友良	40冊
2位	3-6	小池隆一	34冊
3位	3-4	古籟葵	31冊
4位	3-1	長田玲奈	28冊
5位	2-2	清野陽輝	27冊
	2-5	雨宮涼佑	27冊
7位	3-4	廣瀬里奈	26冊
8位	3-8	廣瀬愛菜	25冊
9位	3-2	高橋美桜里	23冊
10位	3-6	河野響	22冊

(4月)

…1位の友良クンの貸出は
すべて『キングダム』です!

